

560/20 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver5.04-02

リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

[Ver.5.04-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.04-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2016 Datacenter ・ Windows Server 2019 Standard ・ Windows Server 2019 Datacenter 	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2008 Standard Edition SP2 ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2 ・ Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1 	仕様変更	システム全般
3	Windows イベントログ (Application) に、プリントサーバシステムのイベントメッセージを出力する機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 起動・終了 ・ 通信状態 ・ プリンタセッションのメッセージ情報 ・ プリントサーバシステム情報 	機能追加	システム全般
4	日立漢字コードの KEIS'90 文字コードに対応	機能追加	システム全般
5	プリントサーバシステムのサービス以外の実行モジュールが実行中の場合は、アンインストールできない仕様に変更	仕様変更	インストーラ/ アンインストーラ
6	サービスで起動中のプリントサーバをアンインストールする場合、サービスの停止、サービス登録の解除を行い、アンインストールを続行することが選択できる機能を追加	機能追加	インストーラ/ アンインストーラ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
7	インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
8	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストーラを実行しようとしても、実行することができない現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
9	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「エミュレータのプロパティ」の表示チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
10	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
11	拡張漢字フォントをインストール後、PCを再起動せずにプリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
12	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
13	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正	バグ修正	ツール
14	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正	バグ修正	ツール
15	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ペン選択 (%K) ・IA (%U) 	バグ修正	ツール
16	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正	バグ修正	ツール
17	コードテーブル設定で、PCコードの入力指定に”区点 JIS コード”を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正	バグ修正	ツール
18	560 用の拡張漢字フォントがインストールされていても、「コードテーブル設定」の「オプション」メニューに「2バイトコードの編集 - 拡張文字用」が表示されないことがある現象を修正	バグ修正	ツール

No.7	インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正
発生条件	以下の操作を行った場合。 ①「ショートカットの選択」画面でチェックボックスをオフに変更 ②「設定の確認」画面に遷移 ③「ショートカットの選択」画面に戻る
障害内容	「ショートカットの選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る。
アップデート未実施時の回避策	「ショートカットの選択」画面で設定内容を再設定する。

No.8	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストールを実行しようとしても、実行することができない現象を修正
発生条件	プリントサーバのアンインストールを実行し、アンインストールに失敗した場合。
障害内容	プリントサーバのアンインストールができない。
アップデート未実施時の回避策	OS 再起動後、再インストールを行い、プリントサーバシステムがすべて停止した状態で、再度アンインストールを行う。

No.9	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。
障害内容	「エミュレータのプロパティ」を非表示に設定できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.10	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正
発生条件	「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。
障害内容	ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。
アップデート未実施時の回避策	フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。

No.11	拡張漢字フォントをインストール後、PC を再起動せずにプリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントサーバシステムをサービスで起動 ・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で、拡張漢字フォントの使用を設定 ・拡張漢字フォントをインストール後、PC の再起動が未実施
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	拡張漢字フォントをインストール後、PC の再起動を行う。

No.12	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントサーバシステムをサービスで起動 ・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	正しいコードテーブル差分ファイルを設定する。

No.13	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・編集形式が「Windows プリンタドライバ」 ・プリンタ名が31文字以上 ・詳細設定の「セッション起動時に出力先プリンタ設定の反映」をチェックし、プリンタドライバ設定を保存
障害内容	印刷時、プリンタドライバの設定が有効とならない。
アップデート未実施時の回避策	プリンタ名を30文字以内に変更する。

No.14	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正
発生条件	サービス設定「サービスの登録」、または「サービス設定の変更」画面を表示した場合。
障害内容	サービス設定「サービスの登録」画面、および「サービス設定の変更」画面の表示に誤記がある。 <誤> パスワード-の確認(R) <正> パスワードの確認(R)
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.15	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペン選択 (%K) ・ IA (%U)
発生条件	UPF ボタンにエミュレータ機能キー「ペン選択」、または「IA」を割り当てた場合。
障害内容	「ペン選択」を割り当てたボタンで「IA」が動作する。または「IA」を割り当てたボタンで「ペン選択」が動作する。
アップデート未実施時の回避策	該当するキーを UPF に設定する際に名前を入れ替えて付ける。 [ペン選択 (%K) ⇔ IA (%U)]

No.16	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正
発生条件	コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。 ①テーブルの最後の数文字（2 バイトコード：2 文字、1 バイトコード：4 文字）の割り当てを変更 ②「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成
障害内容	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。
アップデート未実施時の回避策	「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。

No.17	コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に” 区点 JIS コード” を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正
発生条件	PC コードの入力指定が” 区点 JIS コード” で、文字コード変換の登録を行う場合。
障害内容	登録確認メッセージに不正なコードで区点 JIS コードが表示される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.18	560 用の拡張漢字フォントがインストールされていても、「コードテーブル設定」の「オプション」メニューに「2 バイトコードの編集 - 拡張文字用」が表示されないことがある現象を修正
発生条件	特になし。
障害内容	拡張文字用の差分ファイルが作成できない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 5.01 リビジョン01 / PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (TCPLink 接続)」
(Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2003
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

[TCPLink 関連]

- ◎エミュレータのプロパティの「通信設定」－「詳細設定」に「telnet キーブアライブ」を追加し、コマンドとタイマを設定できるようにしました。また、「キーブアライブ」を「TCP/IP キーブアライブ」に名称変更しました。

[保守機能関連]

- ◎「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。
また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。
<主な機能>
 - ・各種トレースの採取設定
 - ・各種トレースの詳細設定 (ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル)
 - ・各種ログの採取
 - ・トレース/ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
 - ・情報収集これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」は削除しました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[インストーラ関連]

- 以下の OS でインストールパスを変更してインストールすると、スタート画面からホストリンクエクスプローラが起動できない。
 - Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

[ディスプレイ機能関連]

- 機能キーを登録した UPF キーをアサインした状態で実行されない機能キーある。

[プリンタ機能関連]

- プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除/名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- 80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。
- 出力先プリンタに ClassDriver を設定した場合、プリンタセッションの起動に失敗する。

[ユーティリティ関連]

- プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

[保守機能関連]

- レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
 - IPv6
 - マクロコントローラの表示

[オンラインヘルプ]

- エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

[マニュアル関連]

- CJS 拡張漢字フォントを使用し、かつサービスで起動する場合、拡張フォントのインストール後にコンピュータの再起動が必要であることが記載されていない。

[制限事項]

- Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

サーバ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (TCPLink 接続)」
(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
- ※デスクトップ・アプリケーションとしての動作を保証します。
- ※Windows Server 2012 の Server Core 機能での動作には対応していません。
- ※Windows Server 2012 の最小サーバー・インターフェイス構成での動作は保証していません。

- ◎IPv6 に対応しました。

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・ (PC コード : 0x7C)	→
・ ~ (PC コード : 0x7E)	→ ~

[ディスプレイ機能関連]

- ◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・ (PC コード : 0x7C)	→
・ ~ (PC コード : 0x7E)	→ ~

[ユーティリティ関連]

- ◎エミュレータのプロパティにおいて、通信設定の送受信バッファの初期値を「4096」に変更しました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ UPF キーボードから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・ UPF キーボードのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ エミュレータキーボードから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・ アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションでキーが効かないことがある。
- ・ アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションに入力された文字を画面が再描画されるまで表示しない。

[ユーティリティ関連]

- ・ リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・ エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、ショートカットキーが「Alt+B」、「Alt+R」の順に押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・ エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
 - ・ Alt+L
 - ・ Alt+B
 - ・ Alt+T
- ・ レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

以 上

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 4.02 リビジョン01 / PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (TCPLink 接続)」
(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Windows 2000 Server

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ ブリンクモードが“ブリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
 - ・ Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
 - ・ エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

[ユーティリティ関連]

- ・ エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。

- レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
TCPLink 接続
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (TCPLink 接続)」
(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Windows Server 2008 Standard Edition
 - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

[ユーティリティ関連]

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[プリンタ機能関連]

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・「終了時の状態を保存」で、セッションの表示/非表示状態が保存されない。

[ディスプレイ機能関連]

- ・カーソル移動キーでフィールドを移動して実行すると、次画面に遷移せずに同じ画面が表示されることがある。
- ・カーソル移動キーで、保護フィールドにカーソルが移動することがある。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上

560/20 プリントサーバ
DirectLink HNALAN 対応版
Ver5.04-02
リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

[Ver.5.04-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.04-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2016 Datacenter ・ Windows Server 2019 Standard ・ Windows Server 2019 Datacenter 	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2008 Standard Edition SP2 ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2 ・ Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1 	仕様変更	システム全般
3	Windows イベントログ (Application) に、プリントサーバシステムのイベントメッセージを出力する機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 起動・終了 ・ 通信状態 ・ プリンタセッションのメッセージ情報 ・ プリントサーバシステム情報 	機能追加	システム全般
4	日立漢字コードの KEIS'90 文字コードに対応	機能追加	システム全般
5	プリントサーバシステムのサービス以外の実行モジュールが実行中の場合は、アンインストールできない仕様に変更	仕様変更	インストーラ/ アンインストーラ
6	サービスで起動中のプリントサーバをアンインストールする場合、サービスの停止、サービス登録の解除を行い、アンインストールを続行することが選択できる機能を追加	機能追加	インストーラ/ アンインストーラ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
7	インストール時、「設定の確認」画面の [戻る] ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
8	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストーラを実行しようとしても、実行することができない現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
9	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
10	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
11	正常に接続された1つのセッションを利用時に、接続先 IP アドレスが不正、または未設定の他セッションが起動できない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション/ プリンタ セッション
12	拡張漢字フォントをインストール後、PC を再起動せずにプリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
13	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
14	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正	バグ修正	ツール
15	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正	バグ修正	ツール
16	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ペン選択 (%K) ・IA (%U) 	バグ修正	ツール
17	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正	バグ修正	ツール
18	コードテーブル設定で、PCコードの入力指定に”区点 JIS コード”を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正	バグ修正	ツール
19	560 用の拡張漢字フォントがインストールされていても、「コードテーブル設定」の「オプション」メニューに「2バイトコードの編集 - 拡張文字用」が表示されないことがある現象を修正	バグ修正	ツール

No.7	インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正
発生条件	以下の操作を行った場合。 ①「ショートカットの選択」画面でチェックボックスをオフに変更 ②「設定の確認」画面に遷移 ③「ショートカットの選択」画面に戻る
障害内容	「ショートカットの選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る。
アップデート 未実施時の 回避策	「ショートカットの選択」画面で設定内容を再設定する。

No.8	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストールを実行しようとしても、実行することができない現象を修正
発生条件	プリントサーバのアンインストールを実行し、アンインストールに失敗した場合。
障害内容	プリントサーバのアンインストールができない。
アップデート 未実施時の 回避策	OS 再起動後、再インストールを行い、プリントサーバシステムがすべて停止した状態で、再度アンインストールを行う。

No.9	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。
障害内容	「エミュレータのプロパティ」を非表示に設定できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.10	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正
発生条件	「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。
障害内容	ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。
アップデート未実施時の回避策	フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。

No.11	正常に接続された1つのセッションを利用時に、接続先 IP アドレスが不正、または未設定の他セッションが起動できない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・1つのセッションがホストに接続している状態 ・接続先が不正、または未設定でホストに接続できない他のセッションを起動
障害内容	セッションが起動しない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.12	拡張漢字フォントをインストール後、PC を再起動せずにプリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントサーバシステムをサービスで起動 ・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で、拡張漢字フォントの使用を設定 ・拡張漢字フォントをインストール後、PC の再起動が未実施
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート 未実施時の 回避策	拡張漢字フォントをインストール後、PC の再起動を行う。

No.13	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリントサーバシステムをサービスで起動 ・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	正しいコードテーブル差分ファイルを設定する。

No.14	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31 文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・編集形式が「Windows プリンタドライバ」 ・プリンタ名が 31 文字以上 ・詳細設定の「セッション起動時に出力先プリンタ設定の反映」をチェックし、プリンタドライバ設定を保存
障害内容	印刷時、プリンタドライバの設定が有効とならない。
アップデート未実施時の回避策	プリンタ名を 30 文字以内に変更する。

No.15	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正
発生条件	サービス設定「サービスの登録」、または「サービス設定の変更」画面を表示した場合。
障害内容	サービス設定「サービスの登録」画面、および「サービス設定の変更」画面の表示に誤記がある。 <誤> パスワードの確認(R) <正> パスワードの確認(R)
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.16	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 ・ペン選択 (%K) ・IA (%U)
発生条件	UPF ボタンにエミュレータ機能キー「ペン選択」、または「IA」を割り当てた場合。
障害内容	「ペン選択」を割り当てたボタンで「IA」が動作する。または「IA」を割り当てたボタンで「ペン選択」が動作する。
アップデート未実施時の回避策	該当するキーを UPF に設定する際に名前を入れ替えて付ける。 [ペン選択 (%K) ⇔ IA (%U)]

No.17	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正
発生条件	<p>コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。</p> <p>①テーブルの最後の数文字（2バイトコード：2文字、1バイトコード：4文字）の割り当てを変更</p> <p>②「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成</p>
障害内容	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。
アップデート未実施時の回避策	「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。

No.18	コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に” 区点 JIS コード” を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正
発生条件	PC コードの入力指定が” 区点 JIS コード” で、文字コード変換の登録を行う場合。
障害内容	登録確認メッセージに不正なコードで区点 JIS コードが表示される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.19	560 用の拡張漢字フォントがインストールされていても、「コードテーブル設定」の「オプション」メニューに「2 バイトコードの編集 - 拡張文字用」が表示されないことがある現象を修正
発生条件	特になし。
障害内容	拡張文字用の差分ファイルが作成できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
DirectLink HNALAN対応版
バージョン 5.01 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (DirectLink HNALAN 対応版)」
(Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2003
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

[保守機能関連]

- ◎「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。
また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。
<主な機能>
 - ・各種トレースの採取設定
 - ・各種トレースの詳細設定 (ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル)
 - ・各種ログの採取
 - ・トレース/ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
 - ・情報収集これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」は削除しました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[インストーラ関連]

- 以下の OS でインストールパスを変更してインストールすると、スタート画面からホストリンクエクスプローラが起動できない。
 - Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

[ディスプレイ機能関連]

- 機能キーを登録した UPF キーをアサインした状態で実行されない機能キーある。

[プリンタ機能関連]

- プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除/名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- 80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。
- 出力先プリンタに ClassDriver を設定した場合、プリンタセッションの起動に失敗する。

[ユーティリティ関連]

- プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

[保守機能関連]

- レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
 - IPv6
 - マクロコントローラの表示

[オンラインヘルプ]

- エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

[マニュアル関連]

- CJS 拡張漢字フォントを使用し、かつサービスで起動する場合、拡張フォントのインストール後にコンピュータの再起動が必要であることが記載されていない。

[制限事項]

- Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

サーバ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
DirectLink HNALAN対応版
バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (DirectLink HNALAN 対応版)」
(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
- ※デスクトップ・アプリケーションとしての動作を保証します。
- ※Windows Server 2012 の Server Core 機能での動作には対応していません。
- ※Windows Server 2012 の最小サーバー・インターフェイス構成での動作は保証していません。

- ◎IPv6 に対応しました。

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・ † (PC コード : 0x7C)	→ †
・ ~ (PC コード : 0x7E)	→ ~

[ディスプレイ機能関連]

- ◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・ † (PC コード : 0x7C)	→ †
・ ~ (PC コード : 0x7E)	→ ~

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[プリンタ機能関連]

- ・印刷が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。

[ディスプレイ機能関連]

- ・UPF キーボードから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・UPF キーボードのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・エミュレータキーボードから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ローカルコピーが行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・マウス機能画面の設定が変更されても、セッションを再起動するまで設定変更を反映しない。
- ・アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションでキーが効かないことがある。
- ・アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションに入力された文字を画面が再描画されるまで表示しない。

[ユーティリティ関連]

- ・リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、ショートカットキーが「Alt+B」、「Alt+R」の順に押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
 - ・ Alt+L
 - ・ Alt+B
 - ・ Alt+T
- ・レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

以 上

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
DirectLink HNALAN対応版
バージョン 4.02 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (DirectLink HNALAN 対応版)」
(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Windows 2000 Server

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ プリントモードが“プリント”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
 - ・ Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
 - ・ エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

[ユーティリティ関連]

- ・ エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。

- レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
DirectLink HNALAN対応版
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (DirectLink HNALAN 対応版)」
(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
- ・ Windows Server 2008 Standard Edition
 - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
 - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

[ユーティリティ関連]

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[DirectLink(HNALAN 接続)関連]

- ・エミュレータを起動し、ホストにログオンしないままにすると、通信チェック 960 になる。
- ・ログオン操作時、「お待ちください。」のメッセージが消えても画面がそのまま、ログオン操作ができなくなることもある。

[プリンタ機能関連]

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・「終了時の状態を保存」で、セッションの表示／非表示状態が保存されない。

[ディスプレイ機能関連]

- ・カーソル移動キーでフィールドを移動して実行すると、次画面に遷移せずに同じ画面が表示されることがある。
- ・カーソル移動キーで、保護フィールドにカーソルが移動することがある。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上

お客様各位

キャノンITソリューションズ株式会社

560 / 20 プリントサーバ
DirectLink HIS対応版
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「560/20 プリントサーバ (DirectLink HIS 対応版)」
(Ver.2.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[ユーティリティ関連]

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

[プリンタ機能関連]

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・「終了時の状態を保存」で、セッションの表示／非表示状態が保存されない。

[ディスプレイ機能関連]

- ・カーソル移動キーでフィールドを移動して実行すると、次画面に遷移せずに同じ画面が表示されることがある。
- ・カーソル移動キーで、保護フィールドにカーソルが移動することがある。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以上